

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和6年度）総括表

資料1-4

【達成状況（自己評価）の目安】 ◎：年度目標以上のものが達成できた ○：年度目標が概ね達成できた
 △：年度目標の一部が達成できた ×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった

◆基本方針別取組状況

基本方針	重点取組項目		重点取組項目以外の取組項目数	主な取組内容（重点取組項目以外の取組みも含む）	
	項目数	達成状況			
1 身近なコミュニティづくりの推進	34	◎	32	51	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の困りごとを地域住民の手でお手伝いする支え合い活動を7地区部会エリアで実施しているほか、15の地区部会エリアで見守り活動を実施し、その内容も安心カードの配布と声かけから民生委員による訪問、防犯パトロールの際の見守りなど、地区の実情に応じた様々な方法をとっている。 ・地域住民と近隣の大学、行政が地域課題について話し合う活動を持つほか、地域食堂や居場所づくりとしてのこどもカフェ運営など、様々な形でのコミュニティづくりを推進している。
		○	2		
		△	0		
		×	0		
2 交流の場と仲間づくり	33	◎	31	69	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のいきいきサロンは17の地区部会エリアで実施しており、シニアリーダー体操やあんしんケアセンター、健康課による講話などを活用して交流と健康づくりの活動を行ったほか、地域での散歩クラブや体操の会なども行われた。 ・子育て世代の交流の場としての子育てサロンも16の地区部会エリアで開催され、その他にも地域のお祭りや盆踊り、スポーツイベントや、地域内の障がい者施設の行事に地域住民が参加し、交流の場づくりを進めた。
		○	1		
		△	1		
		×	0		
3 社会参加の推進	2	◎	1	32	<ul style="list-style-type: none"> ・地区部会や自治会の中から、高齢者が地域の各種行事にスタッフとして参加するほか、障がい者が避難所運営委員会に参加したり、地域のイベントにおいて障がい者施設で作成する物品の販売をするなど、さまざまなアプローチで社会参加を推進している。 ・地域高齢者の社会参加のために、高齢者向けスマートフォン教室を開催するなどの工夫も見られる。
		○	1		
		△	0		
		×	0		
4 地域の福祉力向上、担い手づくり	4	◎	3	13	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内で福祉に関する講座や研修会を企画開催し、福祉活動への理解を深め、新たな担い手育成に努めた。その講師としてあんしんケアセンターや健康課、警察、消費生活センターなど様々な分野から職員を招き、地域住民の関心を引くテーマで実施したほか、大学や専門学校と連携して学生も地域活動に参加するなど世代を超えた地域の福祉力向上に努めた。
		○	1		
		△	0		
		×	0		
5 相談体制、情報提供の場づくり	5	◎	4	29	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民からの個々の相談については町内自治会役員や民生委員が対応するケースが多いが、地域の活動拠点やいきいきサロンや子育てサロン内で相談コーナーを設置したりする工夫も見られる。 ・すべての地区で広報紙を発行し、ホームページを運用して情報発信に努める地区や、地域防災マップを作成しそれを活用して情報提供を行ったり、緊急ノートを配布し活用する地区なども見られる。
		○	1		
		△	0		
		×	0		
6 福祉教育の推進	1	◎	1	16	<ul style="list-style-type: none"> ・地区部会が主催するボランティア講座のほか、小中学校での福祉体験講座や児童生徒が地域行事にボランティアとして関わったり、専門学校や大学と協働でのイベントを開催したり、わくわくキャンパスや老人クラブと子どもたちとの交流機会づくりなどを通じて、将来を担う子どもたちの福祉教育を推進した。
		○	0		
		△	0		
		×	0		
7 人にやさしい生活環境づくり	9	◎	9	25	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての地区で防犯パトロールやセーフティウォッチャーを実施し、警察による最近の犯罪動向の講座を受講するなど、地域の防犯・安全づくりに取り組んだ。 ・地区内でこども110番のいえの拡充に取り組んだり、不審者からの逃げ方講座などを開催する地区もあった。 ・防災面では避難所運営委員会を中心とした避難訓練や防災訓練を実施したほか、災害時避難マップの配布や、「子どもの目から見た安全マップ」を作成・配布するなどの活動も見られた。
		○	0		
		△	0		
		×	0		
今年度の振り返り	88	◎	81	235	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で縮小を余儀なくされていた地域での行事や活動が回復してきた状況。 ・休止した活動の再始動に際して一度離れた活動の担い手や、コロナ禍で要介護度が上がった高齢者も多く見られる中、様々な取り組みにより再び地域での活動を進め、活動に参加する人たちも回復してきた年度であった。
		○	6		
		△	1		
		×	0		

今後の課題と方針
 コロナ禍により落ち込んだ地域活動の再開が目立つものの、この数年で加齢により、あるいは要介護度が上がって参加しづらくなった高齢者が増えたことや、担い手(ボランティア)や後継者の不足は深刻である。今後の地域福祉活動推進のため、新たな担い手の発掘や育成、そして地域の状況に合わせた活動が重要になると思われる。

◆区支え合いのまち推進協議会開催状況

回数	開催日	主な議題
第1回	7月5日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ収束後の地域活動において新規・拡充した取組みについて ・生活支援コーディネーターによる、地域の交流の場・通いの場に対する支援について ・コミュニティソーシャルワーカーによる、地域の困りごとに対する支援について
第2回	3月18日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の地域活動の取組状況について ・福祉まるごとサポートセンターの相談事例及び拡充事業について ・推進協だより第28号(案)について ・令和7年度のスケジュール(案)について

◆区支え合いのまち推進協議会だより発行状況

号数	発行日	発行部数及び主な配布先
第28号	3月18日(火)	発行部数:6,670部 主な配布先:町内自治会、図書館、公民館、コミュニティセンター(市民センター)、生涯学習センター、男女共同参画センター、市民活動支援センター、いきいきプラザ(センター)

◆区の地域福祉に関する紹介事例等

◆東千葉地区部会エリアにおける地域支え合い活動◆

東千葉地区部会エリアは、旧来からの住民とマンション建設などにより新たに転入してきた住民が共存し、高齢化率は約39%となります。
 当該エリアでは、2002年には地域の助け合いグループ「ハッピータウンの会」が発足されるとともに、同年には「社会福祉協議会 東千葉地区部会」が設立され、「ちょっとボランティア」や「見守りネット東千葉」といった活動を開始しました。
 2020年には、地区部会が実施している「ちょっとボランティア」と「見守りネット東千葉」そして「ハッピータウンの会」の活動を統合し、「ハッピーボランティア東千葉」として活動を再スタートし、地域のニーズを地域住民であるコーディネーターがつなぎ、有償による助け合いサービスを展開しています。
 そして、町内自治会や地域のボランティア団体とともに参加している「地域づくり懇談会」を通じて、住民意識や地域特性、地域課題を把握しつつ「住み慣れた地域で最後まで自分らしく暮らし続けたい」という共通の願いのもと、防災訓練や地域イベントをはじめとした活動を行っています。
 東千葉地区部会では、住民同士のつながりを深め、いざという時に「助けて」と言い合える(相談できる)地域住民の”絆”づくりを目指して活動しています。



地域住民による懇談会の様子